

令和7年度 あすなろの家 事業計画

令和6年度力を入れてきたこと

令和6年度は「未来色」をキーワードに、今私たち業界が置かれている現状を認識し、ここから10年後20年後へ向けあすなろの家がどんな色を出して繋げていくのか、何を変えて何をぶらさず進んでいくのか、全体で考える時間となった。

本物のケアにおいては、ご利用者・ご家族・地域から任された時間を、本当に安心した時間として過ごしてもらうことができているのか？「任されている責任」について深く考える場を持ち、プロとして学び続ける大切さを職員へ伝える時間を設けた。ここに関しては伝え続けることが課題である。自立支援介護、S C委員会、E S Rによる介護技術研修、勉強会、認知症ケアについてもすべて計画通り実施。自立支援介護の知識を地域に伝えていくための勉強会は、少しずつ参加者も増え他事業所の同職種の方にも興味をひき始めている。

本物の接遇力においては、自分を大切にすること、自分を整えること、を意識する活動をすすめてきた。部署ごと「自分を整えるために実践したこと」を発表し合ったり、会議内で体験したり…また、全体では日本地図を掲示し、職員がリフレッシュとして行ってきた県にシールを貼る、というあそび心も取り入れたおもしろい企画も生まれた。職業柄、自分を犠牲にして日々業務に打ち込む場面も多い中、ふっと力を抜き自分を整えること、そしてまた、相手の事を思いやった接遇ができるなどを少し体感できたのではないか。また、働く人にとっても気持のよい場所、いろいろな価値観の人がいるのが社会である、そんなところから職員の身だしなみについてのルールについても話し合いを重ねてきた。

本物のつながりについては、行きたい場所がある この場所にフォーカスして活動を続けてきた。今まで続けてきた地域での取り組み（ファミマ出張相談、地域への通信配布、カフェすまいる、レツツポール体操、キラキラ講座、みんなのほけんしつ）は順調に行ってきた。年2回開催のウォークラリーもだいぶ地域の中で定着ってきており、参加者も100名を超すイベントとなってきた。私たちはイベント屋ではないので、イベント運営の力を上げていくのではなく、このイベントを通して地域作りをしていくんだ！ということも再度確認し元気な地域作りに向け活動をしてきた。また、ライフサポートメイトさんが30名を越し業務を支えてくれている。メイトさんが元気に働いてくれること自体も元気な地域作りの一環になるのかもしれない。

私たちがについては、わくわくする職場をテーマとして活動を行った。職員が職場の中で感じる「もやもやしていること」を出し合って、1つずつ自分たちの力で解決策を探し改善させていくことに各部署で取り組んだ。こういうことが生産性向上となっていくと考えている。また、期中すごいことではない、小さなイベントをちょこちょこ開催し、職員の笑顔！職員の楽しい！がご利用者に伝わっていく！！そんな活動もしてきた。

令和7年 はじまる

令和7年度がはじまる。

あすなろの家には、終業式も始業式もなく新年度と言っても3月が終わって4月が始まる、それだけのこと！

だからこうやって年度のワードを作ってきた。

毎年度毎年度こんな空気の1年にしようよってワードをぶらさげて取り組んできた。

とは言え、それほど大きな変化はない取り組みを重ねてきた。

一緒にその空気感を作り出してくれる職員さんへは感謝！

令和7年度は「はじまる」

未来に向け新しい事業がはじまる。

あすなろの家が27年間繋いできしたことから見えてきたもの。

これまでもこれからもぶらしてはいけないこだわり。

そしてこれから未来に向けた夢。

これらをチョコレートに乗せて社会に伝えてみたい。

こここのところの社会情勢、明るい話題は少ない…。

未来に向けて厳しい話題ばかりが耳に入ってくる。この先どうなってしまうのだろう…。

確かにそうなんだけど、もちろん先のことについてもちゃんと考えながら、今を精一杯前向きに進み続ける！そのほうが楽しいかな。

ここからはじまる。

あすなろの家は笑顔を作り出す場所。

私たちの130の笑顔で今年度はどれだけの笑顔を作り出せるのか？

「さあ　はじまる！」

わくわくする！！

重点課題

本物のケア

やっぱり私たちの仕事内容において一番大切なことはケア、ケアの質。

ご利用者に安心して生活頂くためのケアの質の確保にもう一度注力する。具体的には①自立支援介護の再確認②個のケア技術、チームケアのレベル向上③根拠ある認知症ケアの3つである。また、あすなろの言うケアとはケアワーカーだけが行うものを指すのではなく、食事、環境、情報管理等、全職員で連携して作り上げるものと捉えている。それぞれの持ち場で任されている責任をもう一度考え方を続けていく。

本物の接遇力

あすなろの家の接遇力、毎年毎年、視点を変えながらも長く取り組んでいる。

接遇力を身に着ける、なんのためだろう？相手の気持ちを穏やかに、そしてここは安全そうだ、気持ちの良い場所だと認識してもらう！相手へのメッセージなのかもしれない。であれば、あすなろらしい接遇力に挑戦してみよう！「元気を作る接遇！」あすなろに来ると元気が出るよ。あすなろの職員と話をすると元気がもらえる。そんな今までの接遇よりひとつレベルアップした接遇力を作り出す1年にしよう。

本物の繋がり～地域～

あすなろの家があることで地域を元気にしていきたい！ここはぶれない。

地域にはいろいろな人がいる。その中にももちろん高齢者もいる。私たちが職業としている高齢者も含めそのいろいろな人たちが元気に笑顔で暮らし続けることができる地域が作れないか
いろいろな人をいろいろな人が支えていく、支えあっていく地域

支え合うやり方を見せることができれば！今よりもう少いいろいろな人に対する理解が深まれば！
あすなろの家が手の届く範囲で、そんな地域作りを目指してみるのもまた新たな挑戦！

私たちが

あすなろの家の大事にしたい大きな柱、「ケア」「接遇力」「繋がり」は毎年変わらない。しかし、同じことの継続ではなく進化、深化を続けている。そのために必要なことが「私たちが」 職員一人ひとりが主体性のある職員に成長を続けること、私たちが考え、私たちが「本物」を作っていく。やるのは誰かではない、私たち。物価高騰、労働人口減少、デジタル技術の導入、新事業開始、自分たちの置かれている状況も目まぐるしく変化している。何を大事に何を選択して進んでいくのか、決めていくのも「私たち」
そんな中でも「働く人にとってのワクワク感」「働く人どうしのつながり」は大切に、ひとりの人として成長できる職場でありたい。

以上項目に分けての課題とはなっているが、どれも単独なものではなく全てが絡み合い、全てが実現できることで、理念に近づくものである。

これまでもそうであったように、時代、情勢を読み解きながらの取り組みを行いつつ、基本的な方向性はbrasさずに進めていく

これらの目指すものを一緒に実現していくためにあすなろ職員に持ち続けてもらいたいもの
「素直な姿勢」「謙虚な姿勢」「努力する姿勢」 一緒にがんばりましょう

各事業

特養 基本方針 活き活き！わがまま！自由でOK！

ご利用者にとって大切な時間を過ごすであろうあすなろの家での時間

窮屈なおもいをすることなく生活してほしい

食べたいものを食べてほしい

それが実現できる職員集団、チームでありたい。そのために。

ショート 基本方針 あすなろしかできないこと！

あすなろでしかできないことをもっともっと強化（自立支援、パワリハ、メイトさんとの連携）

居心地よい場所作りと共に専門性の高い場所にもなる

デイ 基本方針 おSHIGOTOも！運動も！

SHIGOTO わくわく！あすなろタウン 誰から必要とされること、誰かの役に立つこと、認められること、それは生きていく喜び！！ご利用者がいつでも自分として自分の力を発揮して輝いて居られる場所。あすなろタウンに来ることでなにかワクワクする！生きがいを感じられる場所。ご利用者一人ひとりが主役になれる町を！職員一人ひとりがワクワクすることに挑戦できる町を！

ヘルパー 基本方針 丁寧に…本物をもっと本物に

丁寧に…本物をもっと本物に

ヘルパーの事業所として仕事を一つ一つ丁寧にやることに変わりはない。あすなろの中のヘルパー事業所としても一度丁寧に。本物をもっと本物に（ケア 接遇力 繋がり 私たちが） 積み重ねてきたことを大切に、この1年ここからはじめる。

居宅 基本方針 新たなケアマネージャーのスタイルをあすなろから！

「できる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように支援する」この方針のもとで「自立支援介護」の知識、技術の習得を目指し「あすなろなら安心」と思っていただけるようなケアマネジメントや事業展開を行っていく

ケアハウス 基本方針 「安心」と「元気」を生み出すプロに

不安がなるべく少ない生活が続くように、自分でできることができない生活が続くように、ほんの少しのサポートで自分らしく安心した生活が続けられるケアハウスにしていく

ひかりサロン 基本方針 元気がずっと続く未来に

『ずっと買い物できる』街は、きっと素敵な街だ

ショッピングリハビリで人と街を元気に

このひかりサロンのビジョンにあすなろ色を混ぜ、元気と笑顔がたくさんある街づくり！

久遠チョコレート 基本方針 いろいろ人のいろいろなチカラ

あすなろの活動から感じているいろんなこと。

「お年寄りの持っているチカラ」「地域に眠っているチカラ」

そんなチカラはちょっとした工夫でひきだすことができる！もちろん笑顔も一緒に

チョコレートに乗せて、社会にどんなメッセージが届けられるだろう？

とにかく一歩！はじめてみる。

1. 設備・固定資産取得

1階廊下腰壁修繕工事 1階各居室壁面補強工事、 高圧電気設備更新工事
非常用電源余剰電力活用工事（ケアハウス共有部エアコン作動） 非常用電源確保工事
パソコン・iPad入替（windows10サポート終了） 介護記録・請求システムソフト更新
床材張り替え（転倒→骨折防止） 車両入替 コピー機入替

2. 人材育成

人事制度（キャリアパス・成長支援シート・考課者面談・施設長面談）

内部研修（年間20程度）・新人研修・介護技術研修・考課者研修

接遇関連研修（虐待関連含む）・リーダークラス育成研修

1回／月の部署会議の充実

3. 人材確保

実務者研修支援制度、5連休制度継続、柔軟な勤務体系

外国人介護職員採用に着手

あすなろの仕事の魅力発信、インスタ・ホームページの充実

4. 地域行事

ファミマなんでも相談、S型デイへの訪問と活動支援、カフェすまいる（認知症カフェ）

参観会、七夕竹飾り出展、港まつり総踊り参加、山原山清掃（年2回）参加、山原盆踊り参加

飯田まつり参加・飯田生涯学習交流館まつり参加、S型デイスタッフ懇談会開催

飯田地区調理実習支援、集まらないウォークラリー、レッツポール体操
H i k a r i ひろば、みんなのほけんしつ、あすなろ通信配布、インスタ投稿
ケアハウスでんでん体操、ケアハウスエコクラフト教室、ケアハウス重ね絵教室

5. 防災

委員会開催 6回／年（防災訓練打合せ・非常用備品確認・B C P 内容打合せ）

訓練 特養・ケアハウス 地震→火災→避難シミュレーション（2名／月）

土砂災害シミュレーション（2回／年）

デイ 地震→火災→避難（2回／年）

1・2・3階食堂にて使用する大型ストーブ作動訓練（冬場）

令和7度各事業部目標数値

サービス名	目標利用率
特 養	99%以上（空床日数 174日）
ショート	95%以上（19名／日以上）
デイ	85%以上（30名／日以上）
ヘルパー	13ケース／日以上
居 宅	45ケース／1人
ケアハウス	100%以上（空床日数 0日）
ひかりサロン	100%以上（24名／日以上）